

第 4 期十勝定住自立圏共生ビジョン（概要版）

1. 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

定住自立圏構想の概要

- 定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と近隣町村が、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取り組みです。

定住自立圏のイメージ

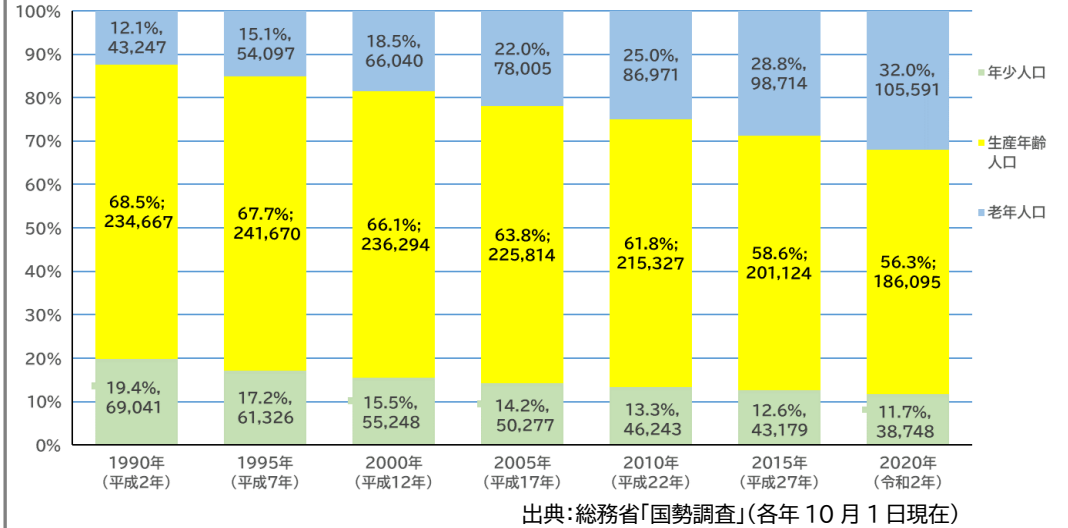


2. 圏域の概況

圏域の人口の推移等

- 圏域の人口は、平成 12 年をピークに減少を続け、令和 2 年 10 月 1 日時点で 332,643 人となっています。
- 高齢化が急速に進行しており、令和 2 年 10 月 1 日時点の高齢化率(全人口に占める 65 歳以上の割合)は 32.0%となっています。

○ 圏域の年齢3区分人口の推移



3. 定住自立圏の形成により目指す圏域の将来像

- 経済のグローバル化や少子高齢化に伴う人口減少などにより、我が国を取り巻く社会経済環境が大きく変化し、各自治体において、地域の特色を活かした活力あるまちづくりが求められる中、複雑多様化する課題に圏域で対応するため、平成 23 年に十勝定住自立圏を形成しました。
- これまで、食や農業を核とした「フードバレーとかち」などに取り組み、地域の稼ぐ力を高め、交流人口の拡大につなげたほか、地域医療体制の充実などを通して、安全・安心な生活環境の充実を図ってきました。3 期にわたり、連携しながら取り組みを進めてきたことで、人口も比較的堅調に推移するなど、圏域の活力が徐々に高まっています。
- 今後、加速化が見込まれる人口減少社会に対応するためには、地域の稼ぐ力の更なる向上や将来的な人手不足への対策など、中長期的な視点で課題を捉え、新しい仕事の創出や関係人口の拡大、安心して暮らせる生活環境の維持・向上などに圏域をあげて取り組んでいく必要があります。
- この地域には、開拓以来、先人から受け継がれてきた不屈のフロンティア精神と社会的経済的に深く結びつき、一体的に発展してきた歴史があります。こうした十勝の「強み」を最大限に活かし、さらなる発展と魅力の向上を図るとともに、誰もが、安全で安心して豊かに暮らせる社会を築き、住みたい、住み続けたいと思える十勝を目指します。

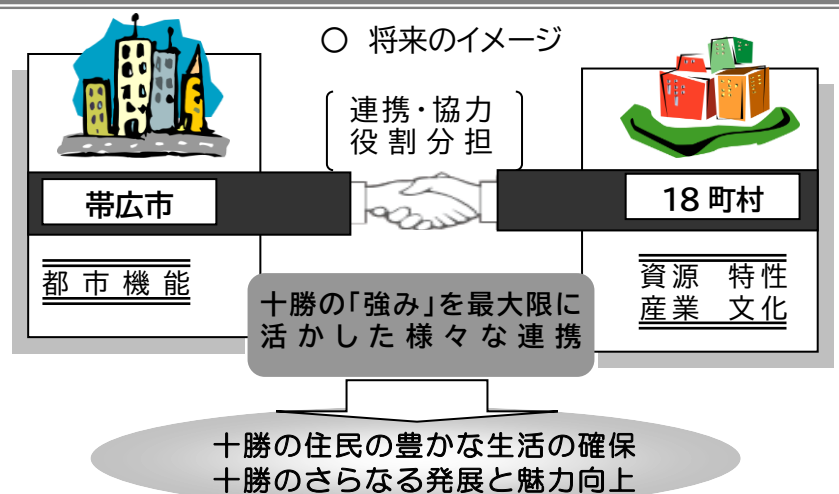
これまでの取組経過

- 平成 22 年 12 月 15 日、帯広市は、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行いました。
- 平成 23 年 7 月 7 日、帯広市と 18 町村との間でそれぞれ 1 対 1 の協定を締結し、「十勝定住自立圏」を形成しました。
- 平成 23 年 9 月には「十勝定住自立圏共生ビジョン」を策定し、19 項目にわたる取り組みを進めてきました。
- 平成 26 年度からは、「市町村長意見交換会」を開催し、第 2 期共生ビジョンの策定に向けた協議などを行ってきています。
- 平成 28 年 3 月には「第 2 期十勝定住自立圏共生ビジョン」を策定し、5 つの取組項目の追加により、24 項目にわたる取り組みを進めてきました。
- 令和 2 年 3 月には、「第 3 期十勝定住自立圏共生ビジョン」を策定し、3 つの取組項目の終了などにより、21 項目にわたる取り組みを進めてきました。
- この間、関係者等で構成する「共生ビジョン懇談会」で検証を行い、新たな取り組みを追加した改訂版を、毎年度変更・公表してきたところです。

圏域の名称・構成市町村・計画期間・人口の将来展望

- 圏域の名称 : 十勝定住自立圏
- 構成市町村 : 十勝 19 市町村
 (帯広市 音更町 土幌町 上土幌町 鹿追町 新得町 清水町 芽室町 中札内村 更別村 大樹町 広尾町 幕別町 池田町 豊頃町 本別町 足寄町 陸別町 浦幌町)
- 計画期間 : 令和 7 ~ 11 年度までの 5 年間 (毎年度所要の見直し)
- 人口の将来展望 : 各市町村で策定中の人口ビジョンを踏まえ設定 (令和 7 年 3 月予定)

○ 将来のイメージ



4. 協定に基づき推進する具体的取組

■ 協定に基づく取り組みは、「生活機能の強化に係る政策分野」、「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」、「圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野」の3分野 21 項目であり、いずれも、十勝 19 市町村の連携により推進します。

1 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

① 救急医療体制等の確保

救命救急センター等の維持・充実に必要な協力や支援を行うほか、適切な医療機関の利用などについて、住民への啓発に取り組みます。

② 地域医療体制の充実

帯広高等看護学院の広域運営を継続するとともに、医師や看護師不足など地域医療の課題解決に向け、関係機関・病院と連携して、検討を進めます。



(2) 福祉

① 地域活動支援センターの広域利用の促進

障害者などに多様な活動の場を提供する地域活動支援センターの情報を提供し、施設の広域利用を促進します。

② 保育所の広域入所の充実

保育所の広域入所の充実に向け、市町村相互の連携に努めるほか、子育て支援の取り組みを進めます。



③ 高齢者の生活支援体制の構築

高齢者の徘徊について、見守りシステムを活用し、支援体制の充実を図るほか、介護士確保対策などの取り組みを進めます。

(3) 教育

① 図書館の広域利用の促進

十勝の図書館情報の提供など、相互連携を強化するとともに、図書館職員の合同研修会などを開催します。

② 生涯学習の推進

生涯学習施設の利用案内や催事などの情報を一体的に提供するほか、圏域住民を対象としたスポーツや文化活動などの教室、講座等を開催します。

③ スポーツ大会等の誘致

スポーツ大会等の誘致に向け、競技施設・宿泊施設の調整など管内連携体制を強化するほか、大規模な大会等を受け入れるための施設・設備環境を充実します。



(4) 産業振興

① 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進

関係機関と連携し、農畜産物など優位性のある地域資源を活用した新商品・新技術開発、人材育成事業などを推進するほか、十勝ブランドの確立に向けたPR事業などを実施します。

② フードバレーとかち及びバイオマスの利活用の推進

「農林水産業」や「食」を柱とした地域産業政策である「フードバレーとかち」をオール十勝で推進します。また、家畜ふん尿由来の再生可能エネルギーに関する調査研究等を行うとともに、バイオマスの利活用を進めます。



フードバレーとかち

③ 企業誘致の推進

自治体間の連携体制の強化を図り、圏域に企業が立地しやすい環境を整えます。

④ 中小企業勤労者の福祉向上

とかち勤労者共済センターへの支援を行うとともに、中小企業の加入促進に向けた取り組みを進めます。

⑤ 広域観光の推進

関係団体と連携したイベントなどを実施するとともに、十勝の観光情報の発信や観光客が周遊しやすい環境づくり、インバウンドの誘客に取り組みます。

⑥ 農業振興と担い手の育成

営農技術の向上や防疫対策などの情報を集約し、農業者への普及・啓発を行うとともに、合同研修会の開催などを通じて地域の担い手を確保・育成します。



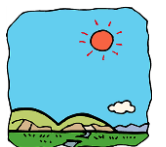
⑦ 鳥獣害防止対策の推進

鳥獣被害や出没情報を共有して効果的・効率的な駆除を行うほか、鳥獣被害対策実施隊の体制等について検討を行います。

(5) 環境

① 地球温暖化防止に向けた脱炭素社会の構築

圏域住民の環境意識の向上を図るため、イベント開催などの啓発事業を行うほか、再生可能エネルギーの利用や省エネルギー機器の導入、森林等の適正な維持管理を進めます。



(6) 防災

① 地域防災体制の構築

大規模災害発生時の相互応援体制の整備のほか、災害に備え、各市町村の防災体制の充実を図ります。



2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通の維持確保と利用促進

バス交通の維持・確保を図るため、協議・協力体制を継続し、利用実態の把握や分析を行うとともに、利用促進に向けた取り組みを進めます。



(2) 地産地消の推進

① 地産地消の推進

十勝の地産地消に関するイベントや生産者の情報を消費者に提供するとともに、イベントなどを連携して行います。



(3) 移住・交流の促進

① 移住・交流の促進

帯広市東京事務所やとかち帯広空港などで、十勝の移住関連情報を発信します。



3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

① 職員研修及び圏域内人事交流

市町村職員向けの研修を合同で実施するほか、帯広市と関係町村間で人事交流を行います。

